

施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	7 社会基盤
----	--------

政策	3 ライフラインである上下水道を維持するために効率的な事業運営を推進します
----	---------------------------------------

施策	1 安全でおいしい水の安定供給
----	-----------------

施策の目的	この施策は、上下水道施設整備事業「水道管の整備・充実」及び「水道施設の整備・充実」により、給水区域内の水道管や水道設備の整備・充実を図るとともに、計画的な機器の更新を行い、安全でおいしい水を安定的に供給することを通じて、お客さまサービスの向上を目指します。
-------	--

評価責任者	所属	上下水道局 水道部 水道管路課
	氏名	課長 石野 敏

(1) 総合評価

総合評価	令和元年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	全ての事務事業で目標どりの実施となり、安全でおいしい水を安定的に供給することを通じて、お客様サービスの向上と効率的な事業運営を目指す施策の目的が達成されているため、評価は「A」とした。
	令和2年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	全ての事務事業で目標どりの実施となり、安全でおいしい水を安定的に供給することを通じて、お客様サービスの向上と効率的な事業運営を目指す施策の目的が達成されているため、評価は「A」とした。
	令和3年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	「水道管の整備・充実」の事務事業において、外的要因により一部の工事進捗に影響が出たことにより事業が遅延し、目標を下回る結果となったが工事遅延は1か月以内にとどまった。以上のことから、安全でおいしい水を安定的に供給することを通じて、お客様サービスの向上と効率的な事業運営を目指す施策の目的が達成されているため、評価は「A」とした。
	令和4年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	全ての事務事業で目標どりの実施となり、安全でおいしい水を安定的に供給することを通じて、お客様サービスの向上と効率的な事業運営を目指す施策の目的が達成されているため、評価は「A」とした。（「水道管の整備・充実」の事務事業は目標を上回ったが、前年度の未達成成分による上積みであることから目標どりと判断した。）

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。－：評価できない。

※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

(2) 成果指標

成果指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率 (%)	評価	目標値の算出根拠
	管路の新設率	0.25% (平成30年度)	1	0.15%	0.15%	100%	a	「第4次静岡市上下水道事業中期経営計画」に基づき、給水区域内において、令和元年度から令和4年度の4年間で需要に応じた水道管12.8kmの整備を行い、新設率（各年度の新設管路延長/管路延長*100）を成果指標として設定。
			2	0.19%	0.18%	94.7%	a	
			3	0.10%	0.08%	80.0%	b	
			4	0.05%	0.08%	160%	a	
	水道施設整備 ①未整備地区人口 ②整備された地区の人口比	①約1,600人 ②0% (平成30年度)	1	①約1,600人 ②0%	①約1,600人 ②0%	100%	a	平成30年度末で約1,600人が居住する「給水区域内にあって未整備地区」のうち、令和4年度までに足久保地区（未整備地区人口600人）の整備を実施する。 整備された地区の人口比（%）＝整備された地区の人口（人）/未整備地区の人口（人）×100 【年間目標値】 各年度の目標値は静岡市上下水道事業第4次中期経営計画に基づき設定している。
			2	①約1,600人 ②0%	①約1,600人 ②0%	100%	a	
			3	①約1,600人 ②0%	①約1,600人 ②0%	100%	a	
			4	①約1,000人 ②37.5%	①約1,000人 ②37.5%	100.0%	a	
指標以外の								

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
上水道施設整備事業（水道管の整備・充実）	「第4次静岡市上下水道事業中期経営計画」に基づき、給水区域内において、需要に応じた水道管12.8kmの整備を順次進める。（水道管整備延長：令和元年度3.8km、令和2年度4.7km、令和3年度2.0km、令和4年度2.1km）	1	1	526,976	199,758	314,669	7.0	1.0	0.0	○
			2	530,874	208,941	205,913	7.0	1.0	0.0	
			3	563,818	138,620	184,340	7.0	1.0	0.0	
			4	438,215	328,435	317,368	7.0	1.0	0.0	
上水道施設整備事業（水道施設の整備・充実）	「第4次静岡市上下水道事業中期経営計画」に基づき、給水区域内における未整備地区など需要に応じた施設整備を順次進めていく。（令和3年度：足久保配水場ポンプ棟及び、電気・機器・滅菌設備完成）（令和4年度：足久保配水場供用開始）	1	1	88,000	128,013	111,151	3.0	0.0	0.0	○
			2	233,000	88,000	274,005	3.0	0.0	0.0	
			3	506,999	46,995	310,898	3.0	0.0	0.0	
			4	2,000	69,579	69,375	3.0	0.0	0.0	
			1							
			2							
			3							
			4							
			1							
			2							
			3							
			4							
			1							
			2							
			3							
			4							

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。

※達成状況の凡例（◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、－：計画実施時期が到来していない、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった）

(4) 今後の取組や方向性

水道管の整備・充実を進めることにより、より安定した給水環境の整備につなげていく。水道管の整備・充実には、工事の入札不調の発生に伴い、着手時期が遅れ年度内の工事完成が困難となる場合がある。工事の不調対策として、受注者の工事の施工（受注）状況を勘案して、大規模発注、債務負担行為の活用などの対策を組み合わせ、発注時期を見極めながら実施することにより、着実に事業を推進していく。

施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	7 社会基盤
----	--------

政策	3 ライフラインである上下水道を維持するために効率的な事業運営を推進します
----	---------------------------------------

施策	2 汚水処理の推進
----	-----------

施策の目的	公共下水道の整備を進めることで、下水道が使用可能となる区域を広げることにより、下水道に係る水環境を守るとともに改善を図り、環境への負荷の軽減を目指します。
-------	---

評価責任者	所属	上下水道局 下水道部 下水道建設課
	氏名	課長 石上 裕

(1) 総合評価

総合評価	令和元年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	施策を構成する主要事業で目標どりの実施となり、下水道に係る水環境を守るとともに改善を図り、環境への負荷の軽減を目指す施策の目的が達成されているため、総合評価は「A」とした。
	令和2年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	下水道計画区域内の整備について、下水道の整備済面積をR2計画値「30ha」に対し、「28ha」実施した。具体的な取組として、服織、大谷、西久保、興津地区等の整備を実施した。また、下水道整備率はR2計画「92.7%」に対し、「92.8%」の実績で、達成率は100.1%となったため、総合評価は「A」とした。下水道計画区域内の整備を進めることにより、下水道が使用可能となる区域が広がり、公衆衛生の向上につながる。
	令和3年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	下水道計画区域内の整備について、下水道の整備済面積をR3計画値「25ha」に対し、「32ha」実施した。具体的な取組として、片山、大谷、西久保、興津地区等の整備を実施した。また、下水道整備率はR3計画「93.0%」に対し、「93.1%」の実績で、達成率は100.1%となったため「A」評価とした。
	令和4年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	下水道計画区域内の整備について、下水道の整備済面積を令和4年度計画値「25ha」に対し、「27ha」実施した。具体的な取組として、中島処理区服織地区、大谷地区、静清処理区飯田地区、長崎地区等の整備を実施した。また、下水道整備率は令和4年度計画「93.3%」に対し、「93.4%」の実績で、達成率は100.1%となったため「A」評価とした。下水道計画区域内の整備を進めることにより、下水道が使用可能となる区域が広がり、公衆衛生の向上につながる。

※【評価基準】S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。－：評価できない。
 ※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

(2) 成果指標

成果指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率 (%)	評価	目標値の算出根拠
			1	92.4%	92.5%	100.1%	a	
下水道整備率		92.0% (8,935ha) (平成30年度)	2	92.7%	92.8%	100.1%	a	
			3	93.0%	93.1%	100.1%	a	
			4	93.3%	93.4%	100.1%	a	
			1					
			2					
			3					
			4					
			1					
			2					
			3					
			4					
			1					
指標以外の成果			2					
			3					
			4					
			1					

※【評価基準】s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

下水道整備率は、「静岡市上下水道事業第4次中期経営計画」に基づき、下水道事業計画（認可）面積9,710haに対する、整備済面積で算出し、目標値として設定した。
 【R1：8,975ha/9,710ha≒92.4%】 40ha
 【R2：9,005ha/9,710ha≒92.7%】 30ha
 【R3：9,030ha/9,710ha≒93.0%】 25ha
 【R4：9,055ha/9,710ha≒93.3%】 25ha

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
下水道事業計画区域内の整備推進事業（下水道計画区域内の整備）	事業計画（認可）面積 9,710.3haのうち、平成30年度末で8,935haが整備済となった。これを「第4次静岡市上下水道事業中期経営計画」に基づき、令和4年度末までに新たに120haを整備し、9,055haとする。 （令和元年度下水道の整備面積：43ha） （令和2年度下水道の整備面積：28ha） （令和3年度下水道の整備面積：32ha） （令和4年度下水道の整備面積：27ha）	1	1	1,049,728	1,104,160	1,065,708	9.0	0.0	0.0	○
			2	1,033,621	677,000	1,168,203	14.1	0.9		
			3	897,227	484,001	1,086,691	14.1	0.9		
			4	1,331,626	203,870	825,797	14.1	0.9		
			1							
			2							
			3							
			4							
			1							
			2							
			3							
			4							
			1							
			2							
			3							
			4							

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。

※達成状況の凡例（◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、－：計画上実施時期が到来していない、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった）

(4) 今後の取組や方向性

本施策は、総合評価欄のとおり期待どおりの成果をあげることができた。しかし、一方で未整備箇所内の施工困難箇所において整備に費用がかかる課題があることから、今後、状況を踏まえた整備方針を定め、環境への負荷の軽減を目指し、引き続き取り組んでいく。